



4・12 市長・市議選

8万4494人の決断が 三原の未来を決める

はじめに

来る4月12日に「市長・市議会議員選挙」が行なわれます。市長選に関しては、現在のところ無投票となる公算が大きく、市議選が話題の中心になると予想されます。

そこで、今月は「選挙」をテーマに、三原のまちづくりについて考えてゆきたいと思います。



市役所全景

いうわけでもありません。

それなのに、市民は何を思って投票をしているのでしょうか。そこには「知っている人だから」「頼まれて」「仕事の付き合いで」という、より良い市政とは関係のない理由があるかもしれません。政治的や行政的な能力よりも、その人との「縁」で選んでいるのです。これでは立候補者に対する「人気投票」であり、政治的な期待をしても、よい反応が返ってくるわけがないのです。

また「地元だから」「出身地の人だから」という考え方もあります。確かに、地元出身の議員がいれば、地元への利益となるでしょう。しかし、市議会議員は地元の代表ではなく、市民の代表であり、市の全体の利益を考える人でないと勤まらないのではないのでしょうか。

これでは「どうせなにもしてくれない」「たいした仕事もしていない」という意見が出て、おかしくはありません。

にすることにより、歳費を押さえ、効率的な議会運営を行うという考え方です。

しかし、市民が効率化を主張し、議席を減らすためには、そういった意見を持った議員を市民自身が選出する必要があります。

まちづくりは市民が主役

市民は、行政や市議会に対して、どのような三原市になってゆけば良いのかを主張するべきだと考えます。そして、その一番のチャンスがこの4月12日に行なわれる「市長・市議会議員選挙」なのではないのでしょうか。

三原市をよりよい街にしてゆくためには、まずは市民がこういった機会を十分に利用して、行政や市議会に対して、自分たちの思い描くまちづくりを伝えてゆかなければならないと思います。

「なにもしてくれない」「たいしたことをしていない」のは、行政や市議会のせいではなく、本当は市民自身が「なにもしていない」「たいしたことをかंगाえていない」のではないのでしょうか。

だからこそ、三原市をよりよいまちにするために、市民はまちづくりに対してもっと意識を高め、積極的にこの選挙というチャンスを利用することで、三原の将来の姿がすばらしいものに変化するきっかけづくりにしてゆきましょう。

行政・市議会は市民の意識の鏡

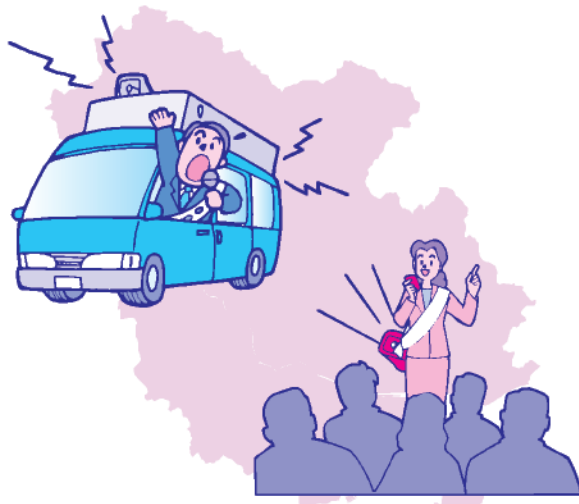
市長と市議会議員を選ぶのは、当の市民です。しかし、行政や市議会に対して、市民からは「どうせなにもしてくれない」「大した仕事もしていない」という声を聞くときがあります。そういった声に対して「市民として無責任な発言だ」という声はあまり聞きません。

「何かをしようとしている人」「大きな仕事ができる人」を選出するのが選挙であり、能力のある人たちを行政の長や、議員に選ぶことが、市民の権利なのではないのでしょうか。ですから、市民は、行政や市議会に対して責任を感じて選挙に臨んでいただきたいと思います。

市民の選挙に対する意識

三原市の投票率は約70%前後を推移し、市民の「選挙に参加」に対する意識は低くありません。

とはいえ、選挙参加意識の高さと、市政に対する興味の低さに、奇妙な違和感を覚えざるを得ません。そして、選出された議員が、支持者の希望と期待を市議会に反映しているかという、そう



議席数は適正と言えるのか

今回、新設合併の特例措置がなくなるため、市議会の議席は32となりました。この議席決定は、市議会によりなされています。法的には地方自治体法第91条に基づき人口当たりの議員数の最大数である36人よりは4名少ないのですが、果たしてこれが適正といえるのでしょうか。

議席数に対するアプローチは2つの面が考えられます。ひとつは、多くの議員を選出することにより、住民の意見を細やかに市政に反映できるという考え方。もうひとつは、最小限の議員定数



2面では
市議会の役割について、
考えてみましょう

3/27(金) 中央公民館にて経営開発セミナー開催!! (参加費無料)

『激変の今、まちづくりに貢献できる会社だからこそ成長する!』

今回開催するセミナーでは『経営品質(価値革新を生み出す組織を作り経営の状態を高めようという考え方)]を認識し、厳しい経営環境を乗り越える真のリーダーシップのあり方、魅力

ある自分づくりの重要性について、日本経営品質協議会指定講師 鬼澤慎人氏にご講演いただきます。



株式会社
ヤマオコーポレーション
代表取締役

おにざわ まさと
鬼澤 慎人氏

<略歴>

1962年 茨城県水戸市生まれ
1983年 上智大学卒業、第一勧業銀行入社
1987年 ソロモン・ブラザーズ・アジア証券へ転職
2000年 (株)ヤマオコーポレーション設立
代表取締役就任

この貴重なチャンスをお見逃しなく!きっとあなたの力になります!



日時 / 2009年3月27日(金) 18:30~20:30

場所 / 三原市中央公民館 中講堂

お申し込み方法 / (社)三原青年会議所事務局までお問い合わせください

お問い合わせ先 / (社)三原青年会議所事務局 担当: 倉橋・出田

第34回 三原やっさ祭り 2009ミスやっさ 大募集

山陽路最大の夏祭りである「三原やっさ祭り」は、今年で34回目を迎えます。

この三原やっさ祭りを通して、私たちのまち「三原」を全国にアピールしてみませんか?きっと忘れることの出来ない素晴らしい思い出があなたを待っています。



応募資格

三原市内及び三原市居住者または勤務者
満18歳以上の方(高校生不可)
観光アシスタントとして三原を全国にPRして頂ける方

受付期間

5月1日(金)まで

賞品

<ミスやっさ2名>・ハワイ旅行6日間 その他賞品
*それぞれの推薦者には推薦者賞をプレゼント
<2次審査参加者>・参加記念品を全員に差し上げます。

申込先

〒723-8555 三原市皆実4丁目8-1 商工会議所内
三原やっさ祭り実行委員会 担当: 森山
TEL 0848-62-6155 FAX 0848-62-5900
ホームページからも申し込みます。http://www.yassa.net/
所定の申込用紙に必要事項を記入しお申し込みください。



ちょっと一言

三原市の玄関口である三原駅前のペアシティ東館跡地が更地になって、1年近くになろうとしている。巷の話では、東京の不動産業者が予定通りにマンションや商業施設を建設できなくなり、事業は白紙に戻ってしまったと聞いている。しかも、土地を手放してしまう意向ということらしい。

これに対して、地元有志が市に対して、ペアシティ東館跡地の購入を訴えかけると新聞に掲載されていた。市が動き、あの土地を購入することで、また余計に税金がかかるのではないか、という不安も生じる。

しかし、三原市民として、何かできることはないだろうか。ペアシティ東館跡地は、旧三原城の本丸のあった場所でもあり、三原の人間としては心のよりどころになる特別の場所とも言えるのではないか。

個人的にできることはあまりないが、広島市の新球場建設の時に行ったような「樽募金」のようなことはできないだろうか、と考える。少しでもよいから、市民に力を合わせ、あの三原城のあった場所に、三原の心を集めることのできるような施設を作ることができるように、長い時間がかかってもよいから、市民の力を合わせて動き出してゆくことはできないだろうか。

城町在住 40代男性

やっさもっさもっさ 伝言板

4月号予告

- ・2月公開例会開催!
- ・経営開発セミナー開催!

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「ちょっと一言」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願い申し上げます。

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	3/31日	4/1日	2日	3日	4日	5日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます



← 携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所 検索

発行元 (社)三原青年会議所 編集 総務・広報委員会